

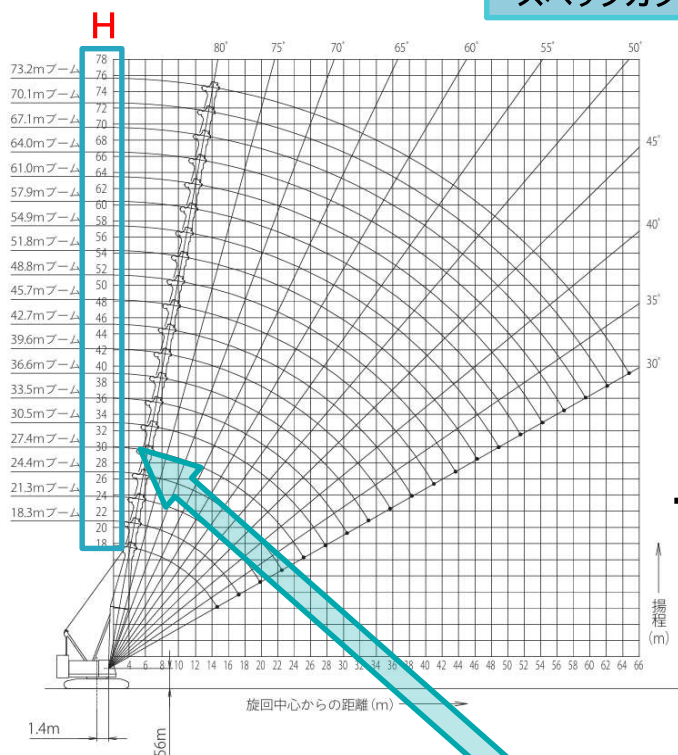
地下揚程の簡易計算方法について

▼地下揚程とは？

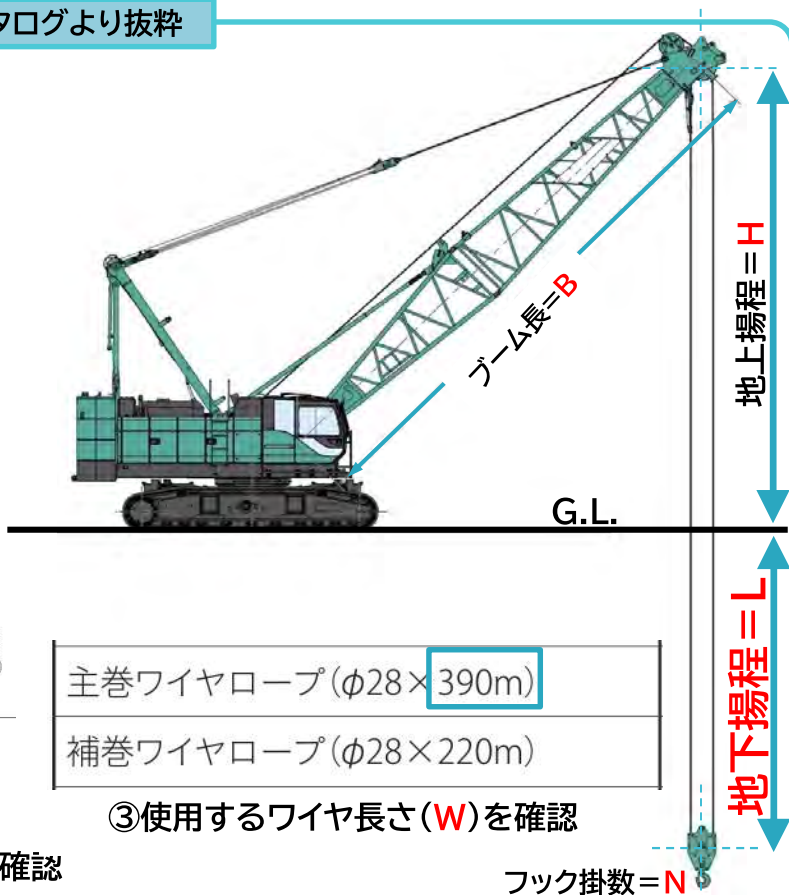
地下揚程(L)とは、地表面から地下方向に延びる揚程の事で、地表面からフックのシーブ中心までの距離を表します。機種、ブーム構成、フックの掛け数、作業半径が分かれば、当該姿勢に於ける地下揚程は簡易的に算出可能です。ただし、施工計画等に使用する数値をご希望の場合につきましては、弊社HPまでお問合せ下さい。

▼計算方法

スペックカタログより抜粋



- ①ブーム長(B)を確認
- ②ブーム長と作業半径に応じた地上揚程(H)を確認



主巻ワイヤロープ(φ28×390m)

補巻ワイヤロープ(φ28×220m)

- ③使用するワイヤ長さ(W)を確認

フック掛け数=N

$$\text{最大地下揚程 } L = \frac{W - \text{余裕値} - B - N \times H}{N} = \frac{\text{ワイヤ長さ[m]} - 10[\text{m}] - \text{ブーム長さ[m]} - \text{フック掛け数} \times \text{地上揚程}}{\text{フック掛け数}}$$

【例】

機種名:7200G-2A

ブーム長(B):51.8m 主フック吊り

フック掛け数(N):4本

作業半径:38m H≒39m

ワイヤ長さ(W):390m

余裕値:10m (ワイヤロープは、ドラムの第1層目に3巻以上残す必要があります)

数値は概算です。参考程度として下さい。

最大地下揚程L

$$= \frac{W - \text{余裕値} - B - N \times H}{N}$$

$$= \frac{390[\text{m}] - 10[\text{m}] - 51.8[\text{m}] - 4 \times 39[\text{m}]}{4} \approx 43[\text{m}]$$

ご不明な点がございましたら、弊社指定サービス工場までご用命ください。

コベルコ建機株式会社

アフターセールス本部アフターセールス企画部

■各種お問合せは……